

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第146回放送の概要（2019年6月22日放送）

パーソナリティ

たろう

（佃 由晃）

なか

（中嶋邦弘）

くらら

（河野真紀）

あきこ

（村上明貴子）



ミキサー

門ちゃん

（門田成延）

かりん

（妹尾優香）

会計

小山俊則

相談役

わだかん

（和田幹司）

1. ゲストコーナー（1）レストランマネージャー、ガーデンプランナー

森 万里さん（茨城県日立市在住 64 陽会）

森 万里さんは、神戸市生まれ。楠幼稚園、菊水小学校。夢野中学ではバレーボール部で体調を崩して、放送部に入った。

兵庫高校では、勉強よりも楽しいことを優先していた。茶道部と美術部に所属。友達が野球部のマネージャーをしていて、楽しい高校生活だった。

茶道部では茶の心を学んだ。男子部員も4人いた。外部から講師をお招きして森さんは私は初心者だったが、卒業までに一通りのことは教わった。

放送に同席した森さんの高校同窓生の大畑嘉子さん、小室こゆみさんより茶道部でのエピソードの紹介があり、「彼氏ができたら、当時流行っていたシュガーレスケーキを、部活の皆におごるというシュガーレスパーティーをしていた。大畑さんはおごる方には恵まれなかったが、森さん、小室さんからはごちそうしていただきましたとのこと。

美術部では、好きな作品を描いたり作ったりし、文化祭で発表していた。美術大学に行きたかった。美術部のメンバーは、現在各分野で活躍している。



茶道部

兵庫の美術部で色タインスパイヤーされた。

文化祭では、2年生の時に蕎麦ハウスの模擬店を出店した。大畑さんも同じクラスだった。本格的なざるそばでかえしが命と取り組んだ。1時間に1度、チェックした。評判がよく大盛況で割りばしが足りなくなり、大畑さんの祖母が経営する食堂から補充した。蕎麦は高校の食堂に麺を卸していた内田製麺から調達した。同級生の実家の食堂から、かえしや道具を調達した。人気はあり儲かったが、一番はミストを販売したクラスだった。

3年生の体育祭では応援として各クラスでタコを作ったが、竹を取ってきて6帖程の大きなうちわを作った。フォークダンスやファイアーストームなど楽しかった。

大学は希望の所に行けなくて、1浪後嵯峨美術短期大学に入学した。家を6時40分に出て通学した。大学での生活が今に繋がっている。卒業製作の絵は買い取られ手元には残らなかった。

卒業後、広告代理店でデザイナーをしていた。街中のサインや案内板の制作やディスプレイの仕事をし、イベント企画では抽選のお姉さんや、予算が無いクライアントではモデルも務めた。今もあるが、ポートアイランドにある国際交流会館、国際展示場の建物壁面の文字をデザインした。

大学時代に知り合った夫と結婚後、夫の実家の茨城県日立市に居住している。不動産など手広く事業をしていたので、家業を手伝いながら子育てをした。建築の図面の彩色やお客さんへの提示物を描いていた。イメージで描いていた庭などを実際にして欲しいと言われた。無責任な事は出来ないと思い、庭の勉強のため東京の専門学校に週末通った。それが、今のガーデンプランナーに繋がっている。第二次ガーデニングブームの前に勉強を終えた。

その頃に阪神淡路大震災が発生した。早朝東京の義弟からの電話で知った。東京ではまだ何も報道されていなかった。一瞬、神戸と電話が繋がった。実家の被災の程度は、西区に転居していたので屋根のずれと一年後に水道管が破裂した。

関東では学者が東京では無くて良かったと発言した位他人事だった。元々以前から入院していた東灘区の叔父が亡くなり、葬儀に参列のため神戸に来た。住吉神社が無くなっていることに大変驚いた。倒壊家屋が多く場所がわからず尋ねたら鹿児島県警の方、次に尋ねたら徳島県警だった。大震災の現実を見て無力を感じた。歩いて友達の小室さんの家や親せきの家に行き、関東から物資を送った。「支援とは」を考えたまっかけだった。神戸に入る時は大阪から北へ行き、神戸電鉄で鈴蘭台辺りまで来て、タクシーを使った。神戸の方たちの明るい助けあう姿は素晴らしかった。

2. ミュージック：たかとり救援基地復興隊 「夢光る町神戸を」

3. ゲストコーナー(2)

東日本大震災では茨城県は当事者だった。日立市は、東北の津波がある沿岸の延長線上にある。福島原発から100キロ、東海からは10キロに住んでいる。津波もあったが、地震の被害は住居地辺りが一番

ひどかった。

事務所で仕事だったが、立っていられなかった。脱出をしなければならないが、ドアが開かない。揺れが収まってやっと外に出られた。余震も長く、この世の終わりかと思った。電気・ガス・水道は止まり、自宅は家具などが散乱し、寝る場所の確保が大変だった。余震と闘いながら家具などを撤去した。家業が建築なので、問い合わせが多く、自転車で来られる人もいた。次の日は雨の予報だったので、ブルーシートが欲しいと言われた。夜は真っ暗で音も無く、冷蔵庫までたどり着けなかった。

翌日から、従業員を含む50人分の食事を1人で半月は作った。材木屋だったので火力はあった。川で水を汲み、釜でご飯を炊いた。残っていた冷凍食品を使ったり、カレー、おにぎりなどを提供した。電気が来てからは、炊飯器を10台使った。

日立市は海沿いのため、震災後に高い防波堤ができて、かつてはサンドアートのイベントもしていた海岸の景観が大きく変わった。原発の問題は終わっていない。風評被害もあり、海外では輸入が拒否されている。いまだに出荷できない食品は、豚の肉、キノコ類である。

現在の仕事はガーデンプランナーである。地域に必要な庭作りとして、土も植物も無農薬で、人にも環境にも良いものをテーマに、月に一度講座を開いている。ボランティアさんの指導は月に2回している。まちづくりの一環として、NPOの人たちと、茨城の美味しい食材を使ったイタリアンレストランのマネジャーとして経営に携わっている。「メイドイン茨城の食材を世界に発信しよう」という目標を掲げ、ミシュランの星を狙っている。



イタリアンレストラン「クチーナ ノルド いばらき」

一昨年、新田次郎の小説「ある町の高い煙突」を映画化しよう、との話が出た。日立市が舞台なので、まちづくりに関わっている仲間で、実行委員会を作ったり、それぞれの持ち分で応援している。

映画は、100年ほど前、日立銅山の煙害に立ち向かう若者と企業を描いた実話である。日立製作所は鉱山の機械を作るためにできた会社で、日産自動車、ニチロ（漁業）など、日本で「日」がつく企業はほぼ関係がある。

応援していてわかったのが、主演の井手麻渡さんのご両親は兵庫高校出身。しかもお父さんは森さんと同じ夢野中学出身とわかり、これは縁だと思った。吉川浩二さん演じる久原房之助さんは、神戸で孫文が

亡命してきた時の最大のパトロンだった。井手さんが神戸と縁があることを知り、神戸で是非上映をして欲しいと思った。配給会社も動き出し、神戸で上映できることになった。全国100か所ほどは6月22日から、神戸は6月28日から神戸ハーバーランドシネマズでロードショーが始まる。また6月23日10時から1回のみ上映会があり、主演の井手麻渡が舞台挨拶をする。

1915年、155.7メートルの世界一の大煙突が完成し、1993年に自然倒壊し高さ54mになったが、現在も都市鉱山などの精錬事業で使われており、日立市のシンボルである。煙害ではげ山になり、農業にも大きな影響が出た。若者が企業にかけ合い、企業も努力した。そして東海村に研究所を建て、煙害に強い植物を研究し、はげ山に500万本を植樹したが、そのうち260万本が桜である。今は日本さくら名所100選にも選ばれている。植えたのは大島桜で煙害にも塩害にも強いと研究者が突き止めたものである。

日立は日本の大部分の銅を製錬している。スマホ、ケータイの銅は日立で作られている。企業の煙害に対する対応が他の鉱山とは考え方が違い、住民の意識も高かった。当時煙突の建設には人力で山の上に重い資材を運んだ。



当初の大煙突



現在の煙突

日立市のある茨城県は魅力度ランキング47位であるが、今年は茨城国体もあるので、是非日立市に来て色々な所を見てもらいたい。

兵庫高校は男子の多い学校で自然に男子っぽさが培われ、今も学校のスピリットは脈々と森さんの心の中に受け継がれている。何でもやってみようという好奇心、男女平等で男性にできて女性にできないわけではないという気持ちは今も持ち続けている。

4. こぼれた話 こぼれなかった話：新長田「県市合同庁舎」がやっと完成！

- (1) 2年前から大正筋商店街の東側の空き地で建設工事が続いていた県と市の合同庁舎がやっと今月末に完成します。8月から順次関係機関が移転・業務を開始します。
- (2) 震災から25年、復興が進む中で人口が戻らず、まちの賑わい回復が課題となっていました。そこ

で県と市が相談して、市内の行政出先機関を共同移転して、県市職員の朝晩の通勤帰宅の移動のほか、訪ねて来る県民市民による新たな人の流れや活発な利用、お昼の食事や買物などにより、同地区の活性化に繋げようとしたのです。

(3) 庁舎は地上9階建。新長田駅から南へ歩いて約10分、市営地下鉄海岸線の駒ヶ林駅から北へ歩いて約2分の距離です。1階には生涯学習などの県立神戸生活創造センターが神戸駅前から移転。2階から5階は神戸市の本庁税務部門の一部と各区の市税事務所、6階は県税事務所が入居します。7階には神戸県民センターの県民交流室に加え、県住宅供給公社の神戸事務所が入り、8階には神戸すまいまちづくり公社が入居して神戸市内の住宅相談が一元的に対応します。

(4) 7月6日に庁舎完成式典が1階の神戸生活創造センターの多目的フリースペースで開催されます。式典に併せて、神戸野田高校によるパフォーマンスや、佐渡裕さん指揮によるスーパーキッズ・オーケストラの演奏と、神戸市混声合唱団による合唱も行われます。

5. 地域瓦版

7月6日(土) 11時～17時まで、新長田合同庁舎完成記念「ときめき誕生祭」が、大正筋商店街、六間道商店街で開催されます。

映画「ある町の高い煙突」が、OSシネマズ神戸ハーバーランドで6月28日(金)からロードショー上映されます。



放送音声は、FMYYのHPおよび「ゆうかりに乾杯」のHPで視聴いただけます。

<https://toc117.jp/fmyy/?cat=51>

[http:// yukari-ni-kanpai.sakura.ne.jp/](http://yukari-ni-kanpai.sakura.ne.jp/)